

がんばろう日本!がんばれ中小企業!つなごう世界中から愛の手を! 日本は必ず元気になります。みんなの力で復興を。



会議所ニュース

中津商工会議所
〒871-8510
大分県中津市殿町1383-1
☎0979-22-2250 FAX0979-22-1750
発行所：中津商工会議所
http://www.nakatsu-cci.org/



万田店 ☎120-705-366
営業時間/お昼9:00～よる12:00
沖代店 ☎120-702-636
営業時間/お昼9:30～よる11:00
豊前店 ☎120-763-378
営業時間/お昼9:30～よる10:00

紙面紹介

- 2面 トップの視点
中津 蘭学と
バイオニア精神
- 4面 平成23年度
中津商工会議所
事業計画
- 5面 生涯教育の先駆者
廣池千九郎
- 5面 福澤記念館
リニューアル
- 5面 中津商業高等学校
開校
- 6面 中津商工会議所
退任・就任挨拶
- 6面 オリジナル
パッケージを販売
武内陶器店

東日本大震災

復旧・再建に向けた活動が始まる

日本商工会議所では現在、各地商工会議所との連携の下、3月17日の会員総会で決議した「東北関東震災への対応と支援」に基づいた具体的な事業を次々と実行へと移している。復旧・再建に向けた本格的な活動が始まった。

日本商工会議所では現在、各地商工会議所との連携の下、3月17日の会員総会で決議した「東北関東震災への対応と支援」に基づいた具体的な事業を次々と実行へと移している。復旧・再建に向けた本格的な活動が始まった。

義援金募金に協力を 第一弾を赤十字に寄付

22日、日商は各地商工会議所・商工会議所連合会に対し、義援金募金の協力の呼び掛けを本格的にスタートさせた。また、日本商工会議所青年部(日本Y.E.C.)や、全国商工会議所青年会連合会でも同時に募金が始まり、現在多くの申し込みが各地から届いている。こうした中、日商は

被災地を次々に訪問 現地の声を要望に反映

震災後、支援本部は「東北関東大震災復興」を要望に反映し、25日、日商は各地商工会議所を訪問。坪田秀治理事、事務局局長が、日赤総務局長に、東北関東大震災の被災者への義援金を手渡した。これは、今回の震災が歴史にまれに見られる大惨事となり、その被害は広範囲に及んでいることなどから、一刻も早い対応が必要と判断

中小向け全額保証3割増 3月震災で資金繰り悪化

政府、9月まで延長
08年10月末から始まった。通常の8割保証ではなく融資の全額保証で、1兆1千億円、今年3月はそれに比べて3割以上増えている。緊急保証融資は、リマン・ショック後の2

震災で景況感悪化 日銀短観、異例の再集計

日銀は4日、3月の企業短期経済観測調査(短観)を東日本大震災の前で分けた再集計結果を発表。震災後では、企業の景況感を示す景況判断指数(DI)が大企業製造業でプラス6、3ヵ月後の先行きはマイナス2と8ポイント悪化を見込んでいる。4月4日、大分合同

日銀短観の業種別景況判断

	大企業		中小企業	
	震災前	震災後	震災前	震災後
製造業	7→3	6→▲2	▲10→▲16	▲6→▲18
非製造業	1→0	7→▲4	▲18→▲25	▲19→▲29
全産業	4→1	6→▲3	▲15→▲22	▲15→▲25

※▲はマイナス、→の左側は現状、右側は先行き

度、全面的な運用は今度以降は全額保証の4

東日本大震災被災地への義援金について

東日本を中心に大きな被害をもたらした今回の大地震は、巨大地震のみならず、津波及び原子力発電所事故等により、被災地域が7県と広範囲に及び多くの死者や行方不明者、被災地商工業者数等が過去最大規模となっています。

以上を鑑み、日本商工会議所は全体の義援金の目標額を10億円とし、これを受け中津商工会議所は、3月18日の常議員会において義援金の募集活動を開始することが決定されました。

3月22日から4月15日までが第1次受付。おかげをもちまして、**4月8日現在で5,131,495円をお預かりしました。**

この義援金は中津市に送付先を委託し、被災地へ届けられます。第2次は4月16日から9月30日まで受付を延長いたします。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- #### 義援金について
- ①皆様よりお預かりした義援金は義援金名簿を作成し、中津市に送付先を委託します。
 - ②義援金の受付に際し、会計処上で必要な方は中津商工会議所にて受領書を交付致します。
 - ③中津商工会議所総務企画課においても受付致します。
担当 鹿沼・黒沢・金枝・中川
電話 22-2250 FAX 22-1750
 - ④次員の各金融機関窓口においても受付致します。
会員の皆様は各関係金融機関での振込みに際しては、振込金受領書を交付致します。

口座名義	中津商工会議所 東北地方大震災義援金 会頭 愛宕 久和
金融機関	大分銀行中津支店 普通預金 口座番号 5611159
	福岡銀行中津支店 普通預金 口座番号 1478450
	西日本シティ銀行中津支店 普通預金 口座番号 0922826
	豊和銀行中津支店 普通預金 口座番号 1281828
	大分みらい信用金庫中津中央支店 普通預金 口座番号 1130664
	大分県信用組合中津支店 普通預金 口座番号 4051930

中企庁

中小対策連絡本部を設置 日商が迅速な対策を要望

中小企業庁は3月22日、「東北地方太平洋沖地震中小企業対策連絡本部」(本部長＝中山義活経済産業大臣政務官)を設置。日本商工会議所は今後、同本部のメンバーとして、現地中小企業が置かれている厳しい現状を訴えていくとともに、取り組むべき政策についての議論に積極的に加わっていく。

同日に開かれた第1回会合には、日商から、瀬谷俊雄福島商工会議所会頭が出席した。瀬谷会頭は、福島第1原子力発電所の事故の早期封じ込めを強く主張。併せて、類を見ない激甚災害と、計画停電の実施など、震災が企業に与えているさまざまな影響に触れながら、これにきっかけで大企業が工場の海外シフトを加速させる事への危機感を強調、政府として適切な対策を取っていくよう要望した。(4月1日、日本商工会議所)

一方、こうした動きは海外にも広がっている。中国や台湾など、各国の在外日本商工会議所でも、義援金を募る活動が続々と起きており、多くの国から支援の申し出が寄せられている。4月1日、日本商工会議所

各地で広がる支援の輪

各地商工会議所においても、独自の活動が活発化している。阪神大震災を経験した兵庫県の、県連が緊急アピールを採択。義援金募集をはじめ、被災地への義援金の提供の呼び掛けを行い、早期復興

に向け、支援を実施している。黒部商工会議所(富山県)では、黒部市に被災者を受け入れ、住み込みの無償提供や短期就業の受け入れを呼び掛けている。さらに、日本Y.E.C.では、全国の青年部を通じて支援物資を集め、4つの拠点に集積。現在、避難所など順次搬送を進めている。また、五所川原商工会議所(青森県)では、売上げを義援金として被災地に届けるため、27日に郷土料理「まし山宝汁」の販売会を行うなど、各地で幅広い取り組みが行われている。

被災地へ支援物資を送る

下郷農協、中津ロータリークラブ、中津商工会議所は、去る3月23日、岩手、宮城、福島県の被災地に、フリーズドライ商品一万五千食分や飲料水、生理用品、オムツなどの日用品、また消毒液などを4トントラック1台に積み込み支援物資を送りました。



被災地へ支援物資を送る

東日本大震災により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

●東日本大震災被害に伴う経済上の理由により事業活動が縮小した場合に雇用調整助成金が利用できます。

●日本政策金融公庫の支援態勢について「災害復旧貸付」における利率引き下げ措置が実施されています。

●大分県制度資金の中小企業活性化資金 金融条件を緩和する特例措置が設けられています。

中津市内金融機関の支援態勢について

東日本大地震に関する特別金融相談窓口が設置されています。

大分銀行	☎0120-849-080
豊和銀行	☎0120-308-329
大分みらい信用金庫	☎0120-500-465
大分県信用組合	☎0120-393-528
福岡銀行	☎0120-111-652
西日本シティ銀行	☎0979-22-1550

詳細お問い合わせ ハローワーク中津 ☎24-8609まで

詳細お問い合わせ 中津商工会議所中小企業相談所 ☎22-2250まで

詳細お問い合わせ 中津商工会議所中小企業相談所 ☎22-2250まで

トップの視点

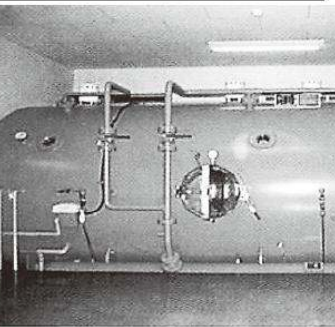
医療法人 玄真堂
理事長 川島 真人氏
川島整形外科病院

骨髄炎、潜水・潜函病による骨壊死、高圧酸素療法など、整形外科分野における世界トップレベルの研究と治療で実績のある川島整形外科病院の川島真人理事長。1981年、郷里の大分・中津城下町に開院してからは、国内外から延べ28万以上が治療に訪れている。人口8万5,000人強の地方都市にあって「世界水準の医療で、地域の医療と文化と社会の発展」に取り組む川島氏にお話を伺った。



「最初は造船技師をめざしていましたが。当時は、造船業が日本一と言われていましたから、一番デカイ船を造りたかった。それが高校2年の終わりに転機が訪れた。1ヶ月連続で熱から開業医の診察を受け、医療の不思議さに感銘を受け、医師志すきっかけとなる。」

その後、郷里の中津市で開業し、以来、世界トップレベルの研究と医療、地域に必要不可欠の病院として成長し、2011年には30周年を迎える。人生の師匠に恵まれたお陰だと、川島氏は振り返る。



高気圧酸素治療装置

川島氏は、東京医科大学歯学部に進学。アメリカ式のレジデンツシステムを早く導入し「高い水準での臨床研修制度を誇る。」

「虎ノ門病院で整形外科で、生涯の師と仰ぐ御座部長と出会い、病室は研究室、患者は教科書と、徹底的に臨床医としての基本を身につけていく。」

1970年、川島氏は「虎ノ門時代の最大の出会い」をする。8年間で20回もの骨髄炎手術を受けた20歳の女性である。先駆医師と患部を挿入しても、やはり膿がたまり、考えるも手だてがない。そのときアメリカ・シカゴの局所持続洗浄で治癒した症例論文を目にする。さっそく点滴チューブで代用し、試みる。1回目の局所持続洗浄で膿孔が治癒した。退院されたときは、信じられない思い、感動を覚えていた。川島氏は「減圧症と骨壊死の研究」に取り組む。明海・大浦漁協での調査などでも行われ、原因究明の研究は進んでいく。川島氏は「必要とされる病院としての成熟をも意味している。」

2000年に一般病院の認定を受けた同院は2010年8月、病院機能評価V.F.6を取得した。2009年度の年間手術件数は、1,300件、急患数は、1,528人、高気圧治療患者数は、4,056人。リスクの高い手術をやっているが、一度も裁判になったことはないという同院は、しかもこの10年は無借金経営が続いている。そして今、2012年の完成を目指し、玄真堂の全医療介護施設・クリニックの全面的な増改築とシステム改革、改善が、スタッフの改革、最終判断は川島氏というプロジェクトで動き出している。

川島氏は、東京医科大学歯学部に進学。アメリカ式のレジデンツシステムを早く導入し「高い水準での臨床研修制度を誇る。」

1975年には、潜水の骨髄炎の労災認定第1号を勝ち取った。一方で天児氏は、「研究論文を書き、頻繁に世界で発表する。」と川島氏に指導する。国際学会に毎年、演題を発表するのは大変困難で辛いことも多いのですが、天児先生の言葉をかみしめながら学術活動を続けています。

「トップとして大切なことは、自分の理念をスタッフにしっかりと伝えること。伝われば、有機的な連携とともに主体的に奮起してくれま

中津 蘭学とパイオニア精神

1 最初のオランダ船 リーフデ号

医療法人玄真堂
川島整形外科病院
理事長
川島 真人氏

この項を書き始めるにあたって、去る3月11日、東日本大震災で亡くなった方々へのご冥福をお祈り申し上げます。また被災された多くの方々には心からお見舞いを申し上げます。中津は前野良沢から福沢諭吉にいたるまで多くの蘭学者、パイオニアを輩出したことで全国的にも知られている。市内には村上史学資料館、大江史学資料館、福沢諭吉資料館をはじめ中津城三階に歴史の激変のさなかに生きたパイオニア精神



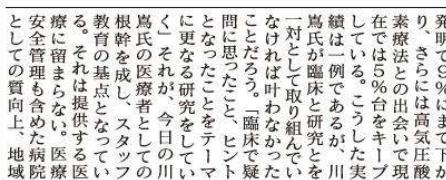
ハウステンボスで復元されたリーフデ号

と蘭学という全く違う世界の学問と思想を受け継いで自分たちのものにしていった。日本人のパイオニア精神との融合の歴史である。今日未曾有の大震災に遭遇している我々日本人が復興を夢見てチャレンジすべきパイオニア精神で参考になれば幸いです。



リーフデ号漂着記念碑 (黒島)

白杵市にて記念シンポジウムが開催され、筆者も中津藩と蘭学について講演させていただきました。このことが昨日の天文12年(1543)ポルトガル船が種子島の西洋との接触の始まりであり、その後スペイン人がやってきてキリスト教を普及させていった。スペイン王ポルトガル王を兼ねたフェリペ二世は、新領土に加えたオランダを宣言したことからオランダ船のリスボン入港を禁じた。リスボン



ウィリアム・アダムス像

参考文獻
一、岡田章雄：三浦按針、思文閣出版、京都、1984年
二、三、忽郷正明：洋学の系譜、研究者出版、東京、1984年
四、大分歴史博物館：おおいた蘭学事始、宇佐市、2005年
五、平戸市日蘭交流400周年記念事業実行委員会、平戸オランダ商館展、2000年
六、神戸市立博物館、日蘭交流のかけ橋、1998年

高度な専門技術とぬくもりのある医療を目指して

日本医療機能評価機構認定病院
救急告示病院
川島整形外科病院
医療法人 玄真堂
理事長 川島真人

川島真人 出版物

- ① 蘭学の泉ここに湧く 豊前・中津医学史散歩 (3,000円)
- ② 続・豊前中津医学史散歩 医は不仁に術務めて仁をなさんと欲す (2,300円)
- ③ 川島真人エッセイ集 蘭学の里・中津 (1,260円)
- ④ 中津藩 蘭学の光芒 豊前中津医学史散歩 (2,625円)
- ⑤ 水満は岩をも穿つ (3,000円)
- ⑥ 私と玄真堂の歩み (2,000円) 2008年度 日本臨床整形外科学会 学術賞 受賞記念誌
- ⑦ 九州の蘭学 (2,625円) 越境と交流
- ⑧ 近代医学を築いた開拓者達 (2,000円) 福井県小浜市主催 第7回 杉田玄白受賞記念誌
- ⑨ 白衣と (川島ミツエ百寿記念) 花ひとすじ (2,500円)

お求めは川島整形外科病院まで
〒871-0012 大分県中津市宮夫14-1
TEL0979-24-0464 / FAX0979-24-6525
E-mail gensin@fat.coara.or.jp

春が、くるよ

中津・桜ともみじの会
平成18年度～22年度
桜11,922本、もみじ12,368本
募金募集中

山国作業部会 耶馬溪作業部会 本耶馬溪作業部会
三光作業部会 中津作業部会

事業活動方針 (今年度の重点目標)

持続可能な未来社会の実現に向けて、新たな価値の創造を

ひとづくり ものづくり 地域づくり

中東危機に端を発した原油高や気象変動による食料品の原材料高による景況から、回復基調にあった日本経済は、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の影響により、景気の下振れが大きく懸念される状況になっています。

国家的な大惨事により、国を挙げて早急な復旧への対策が求められており、このような国内情勢のなかで、地方においては日頃から蓄積した地域力を発揮し、この難局を乗り越えていかなければなりません。

中津市においても、一昨年の大幅な製造業を中心とした一時的な減産からは回復しつつありますが、本格的な稼働状況には立ち至っていないのが現状であり、今後の日本全体の景況の影響もあり、地域全体の経済活動において、産業界全体でのこれまでに以上の相互連携によるさらなるイノベーションが必要であることは言うまでもありません。

このような状況の中で、中津商工会議所は、地域の将来をどのようにかかえていくのかという「地域構想ビジョン」を明確にして、当所を中心とした産業界全体がめざすべき「中津市のかたち」を実現するための様々な諸活動に取り組まなければなりません。

そのため、地域の産業経済の一層の発展と複雑多様化する経済環境の変化に対する適応力の向上を図るため、これまで以上に「調和のとれた活力あふれる地域づくり」を基本にして、「持続可能な未来社会の実現のために、新たな価値の創造」を、地域全体で早急に実現することが、今求められています。

本年度は、地域総合経済団体として、その持てる機能・権能を十分に活用し、明日の中津を創造するため「ひとづくり」「ものづくり」「地域づくり」を基本にした事業を推進することが喫緊の課題です。

そのため、平成23年度 中津商工会議所の事業活動計画に次の3つを重点事業として掲げ、実現に向けて会員・議員・役員と事務局が一体となり、全力を挙げて具体的な活動を行うことが必要です。

- (1) 産業力の向上による経済基盤の充実・強化
 - ～インフラ整備に呼応した地域経済力の強化～
 - (産業連絡会議の設立と産学官連携の推進)
 - ～地域経済力の基盤となる人材育成と人材開発 (福祉経営塾の開設)～
 - ～要望・提言活動への積極的な取り組み～
 - ～商工会議所活動の活性化 (会員のための委員会・部会活動)～
- (2) 活力あふれる「ものづくりと地域づくり」事業の推進
 - ～地域資源 (農・商・工・漁) の新たな発掘と地域ブランドの開発～
 - (特産品の開発及び販路開拓に向けたプロジェクトチームの設立)
 - ～にぎわいとコミュニティ・安全と安心があふれるまちづくり～
 - (中心市街地・南部自由市場への支援協力)
 - ～地域づくりのための関係団体との連携強化～
- (3) 会員サービスの充実と組織基盤の強化確立
 - ～商工会議所は、常時2000事業家の「安心と信頼の場」～
 - ～会員事業所への巡回及び専門家派遣等による経営基盤の強化～
 - ～商工会議所財政基盤の強化に向けて、各種共済制度等の充実～
 - ～創立80周年記念事業に向けての取り組み～

そのため、これらの重点事業を実現するためには、本年度の重点目標である「ひとづくり」「ものづくり」「地域づくり」を、会員を中心としての活動として積極的に推進しなければなりません。

この厳しい経済環境を打破し、「ふるさと中津」の躍進のため、経済資本の地域内循環の促進や、各事業所の経営革新や体質強化が図れるよう、課題や問題に果敢に挑戦する商工会議所活動を行うため、事業を引き続き行います。

調和のとれた

活力あふれる地域づくり



持続可能な未来社会の実現に向けて、新たな価値の創造を

平成23年度当所事業計画決まる!

中津商工会議所は、第3回通常議員総会を去る3月23日、当所議員会議室で開催した事業活動方針に基づいた年度事業計画等について審議した。

総会では、愛宕会頭よりお見舞いを申しあげ、より「まずは、東日本大震災により多くの被災された皆様方にも心よりお見舞いを申しあげます。当地域

中津市においては、一昨年の大幅な製造業を中心とした一時的な減産からは回復しつつありますが、本格的な稼働状況には立ち至っていないのが現状であり、今後の日本全体の景況の影響もあり、地域全体の経済活動において、産業界全体でのこれまでに以上の相互連携によるさらなるイノベーションが必要であることは言うまでもありません。

このような状況の中で、中津商工会議所は、地域の将来をどのようにかかえていくのかという「地域構想ビジョン」を明確にして、当所を中心とした産業界全体がめざすべき「中津市のかたち」を実現するための様々な諸活動に取り組まなければなりません。

そのため、地域の産業経済の一層の発展と複雑多様化する経済環境の変化に対する適応力の向上を図るため、これまで以上に「調和のとれた活力あふれる地域づくり」を基本にして、「持続可能な未来社会の実現のために、新たな価値の創造」を、地域全体で早急に実現することが、今求められています。

本年度は、地域総合経済団体として、その持てる機能・権能を十分に活用し、明日の中津を創造するため「ひとづくり」「ものづくり」「地域づくり」を基本にした事業を推進することが喫緊の課題です。

そのため、平成23年度 中津商工会議所の事業活動計画に次の3つを重点事業として掲げ、実現に向けて会員・議員・役員と事務局が一体となり、全力を挙げて具体的な活動を行うことが必要です。

中津市においては、一昨年の大幅な製造業を中心とした一時的な減産からは回復しつつありますが、本格的な稼働状況には立ち至っていないのが現状であり、今後の日本全体の景況の影響もあり、地域全体の経済活動において、産業界全体でのこれまでに以上の相互連携によるさらなるイノベーションが必要であることは言うまでもありません。

このような状況の中で、中津商工会議所は、地域の将来をどのようにかかえていくのかという「地域構想ビジョン」を明確にして、当所を中心とした産業界全体がめざすべき「中津市のかたち」を実現するための様々な諸活動に取り組まなければなりません。

そのため、地域の産業経済の一層の発展と複雑多様化する経済環境の変化に対する適応力の向上を図るため、これまで以上に「調和のとれた活力あふれる地域づくり」を基本にして、「持続可能な未来社会の実現のために、新たな価値の創造」を、地域全体で早急に実現することが、今求められています。

本年度は、地域総合経済団体として、その持てる機能・権能を十分に活用し、明日の中津を創造するため「ひとづくり」「ものづくり」「地域づくり」を基本にした事業を推進することが喫緊の課題です。

そのため、平成23年度 中津商工会議所の事業活動計画に次の3つを重点事業として掲げ、実現に向けて会員・議員・役員と事務局が一体となり、全力を挙げて具体的な活動を行うことが必要です。

- 1. 山国川の渡架橋早期完成
- 2. 都市計画道路宮永角木線(福沢通り延長)の早期整備
- 3. 東九州自動車道の早期完成(築上町・早稲町・宇佐市)
- ※上毛町のスマートインターの大型車通行工事に要請
- 4. 中津日田間地域高規格道路の整備促進
- 5. 重点投資推進と利活用に向けた取り組み
- 6. 中津駅北側区画整理事業の促進
- 7. 「ものづくり」人づくり

- (1) 産業力の向上による経済基盤の充実・強化
 - ①平成26年度以降に整備予定の東九州自動車道や中津日田間地域高規格道路等を整備中の「重点投資推進と利活用」の活用により、地域経済全体を振興発展させるため、産業連絡会議(案)を設立する。
 - ②地域経済の持続可能な未来社会の実現に向けて、景気対策をはじめ小規模事業者など、適宜に国をはじめ大分県や中津市などの関係機関へ要望・提言を行う。
 - ③特にインフラ整備に引き続いて、次の項目を引き続き積極的な要望を行う。
 - ④山国川の渡架橋早期完成
 - ⑤都市計画道路宮永角木線(福沢通り延長)の早期整備
 - ⑥東九州自動車道の早期完成(築上町・早稲町・宇佐市)
 - ⑦上毛町のスマートインターの大型車通行工事に要請
 - ⑧中津日田間地域高規格道路の整備促進
 - ⑨重点投資推進と利活用に向けた取り組み
 - ⑩中津駅北側区画整理事業の促進
- (2) 調和のとれた活力あふれる「ものづくりと地域づくり」事業の推進
 - ①中津市の地域資源(農・商・工・漁)の新たな発掘と地域ブランドの開発
 - ②産学官連携の推進
 - ③産学官連携の推進
 - ④産学官連携の推進
 - ⑤産学官連携の推進
 - ⑥産学官連携の推進
 - ⑦産学官連携の推進
 - ⑧産学官連携の推進
 - ⑨産学官連携の推進
 - ⑩産学官連携の推進
- (3) 会員サービスの充実と組織基盤の強化確立
 - ①産学官連携の推進
 - ②産学官連携の推進
 - ③産学官連携の推進
 - ④産学官連携の推進
 - ⑤産学官連携の推進
 - ⑥産学官連携の推進
 - ⑦産学官連携の推進
 - ⑧産学官連携の推進
 - ⑨産学官連携の推進
 - ⑩産学官連携の推進

からの選出者による中津の特産品の研究開発と販路開拓に向けた「特産品開発プロジェクトチーム」(仮称)を設置する。

⑧ 大分県立工科短期大学を4年制大学に

⑨ 山国川河川内の景観に関する政策要望

⑩ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑪ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑫ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑬ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑭ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑮ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑯ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑰ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑱ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑲ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

⑳ 中津市の観光資源を有効に活用し、観光振興策を推進する

所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。

③ 会員サービスの充実と組織基盤の強化確立

④ 産学官連携の推進

⑤ 産学官連携の推進

⑥ 産学官連携の推進

⑦ 産学官連携の推進

⑧ 産学官連携の推進

⑨ 産学官連携の推進

⑩ 産学官連携の推進

⑪ 産学官連携の推進

⑫ 産学官連携の推進

⑬ 産学官連携の推進

⑭ 産学官連携の推進

⑮ 産学官連携の推進

⑯ 産学官連携の推進

⑰ 産学官連携の推進

⑱ 産学官連携の推進

⑲ 産学官連携の推進

⑳ 産学官連携の推進

- ① 全産業の中心である中津市を核として、積極的に推進し、会員組織の拡大を図るため、当面会員事業所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。
- ② 産学官連携の推進
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 産学官連携の推進
- ⑤ 産学官連携の推進
- ⑥ 産学官連携の推進
- ⑦ 産学官連携の推進
- ⑧ 産学官連携の推進
- ⑨ 産学官連携の推進
- ⑩ 産学官連携の推進
- ⑪ 産学官連携の推進
- ⑫ 産学官連携の推進
- ⑬ 産学官連携の推進
- ⑭ 産学官連携の推進
- ⑮ 産学官連携の推進
- ⑯ 産学官連携の推進
- ⑰ 産学官連携の推進
- ⑱ 産学官連携の推進
- ⑲ 産学官連携の推進
- ⑳ 産学官連携の推進

- ① 全産業の中心である中津市を核として、積極的に推進し、会員組織の拡大を図るため、当面会員事業所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。
- ② 産学官連携の推進
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 産学官連携の推進
- ⑤ 産学官連携の推進
- ⑥ 産学官連携の推進
- ⑦ 産学官連携の推進
- ⑧ 産学官連携の推進
- ⑨ 産学官連携の推進
- ⑩ 産学官連携の推進
- ⑪ 産学官連携の推進
- ⑫ 産学官連携の推進
- ⑬ 産学官連携の推進
- ⑭ 産学官連携の推進
- ⑮ 産学官連携の推進
- ⑯ 産学官連携の推進
- ⑰ 産学官連携の推進
- ⑱ 産学官連携の推進
- ⑲ 産学官連携の推進
- ⑳ 産学官連携の推進

- ① 全産業の中心である中津市を核として、積極的に推進し、会員組織の拡大を図るため、当面会員事業所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。
- ② 産学官連携の推進
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 産学官連携の推進
- ⑤ 産学官連携の推進
- ⑥ 産学官連携の推進
- ⑦ 産学官連携の推進
- ⑧ 産学官連携の推進
- ⑨ 産学官連携の推進
- ⑩ 産学官連携の推進
- ⑪ 産学官連携の推進
- ⑫ 産学官連携の推進
- ⑬ 産学官連携の推進
- ⑭ 産学官連携の推進
- ⑮ 産学官連携の推進
- ⑯ 産学官連携の推進
- ⑰ 産学官連携の推進
- ⑱ 産学官連携の推進
- ⑲ 産学官連携の推進
- ⑳ 産学官連携の推進

- ① 全産業の中心である中津市を核として、積極的に推進し、会員組織の拡大を図るため、当面会員事業所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。
- ② 産学官連携の推進
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 産学官連携の推進
- ⑤ 産学官連携の推進
- ⑥ 産学官連携の推進
- ⑦ 産学官連携の推進
- ⑧ 産学官連携の推進
- ⑨ 産学官連携の推進
- ⑩ 産学官連携の推進
- ⑪ 産学官連携の推進
- ⑫ 産学官連携の推進
- ⑬ 産学官連携の推進
- ⑭ 産学官連携の推進
- ⑮ 産学官連携の推進
- ⑯ 産学官連携の推進
- ⑰ 産学官連携の推進
- ⑱ 産学官連携の推進
- ⑲ 産学官連携の推進
- ⑳ 産学官連携の推進

- ① 全産業の中心である中津市を核として、積極的に推進し、会員組織の拡大を図るため、当面会員事業所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。
- ② 産学官連携の推進
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 産学官連携の推進
- ⑤ 産学官連携の推進
- ⑥ 産学官連携の推進
- ⑦ 産学官連携の推進
- ⑧ 産学官連携の推進
- ⑨ 産学官連携の推進
- ⑩ 産学官連携の推進
- ⑪ 産学官連携の推進
- ⑫ 産学官連携の推進
- ⑬ 産学官連携の推進
- ⑭ 産学官連携の推進
- ⑮ 産学官連携の推進
- ⑯ 産学官連携の推進
- ⑰ 産学官連携の推進
- ⑱ 産学官連携の推進
- ⑲ 産学官連携の推進
- ⑳ 産学官連携の推進

- ① 全産業の中心である中津市を核として、積極的に推進し、会員組織の拡大を図るため、当面会員事業所数を常時2,000事業所とし、〇〇〇事業所の財政基盤の強化を図るため、生命共済制度等加入数の促進を行い、会員事業所の福利厚生制度の拡充に努める。
- ② 産学官連携の推進
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 産学官連携の推進
- ⑤ 産学官連携の推進
- ⑥ 産学官連携の推進
- ⑦ 産学官連携の推進
- ⑧ 産学官連携の推進
- ⑨ 産学官連携の推進
- ⑩ 産学官連携の推進
- ⑪ 産学官連携の推進
- ⑫ 産学官連携の推進
- ⑬ 産学官連携の推進
- ⑭ 産学官連携の推進
- ⑮ 産学官連携の推進
- ⑯ 産学官連携の推進
- ⑰ 産学官連携の推進
- ⑱ 産学官連携の推進
- ⑲ 産学官連携の推進
- ⑳ 産学官連携の推進

